

令和6年11月27日

生徒の皆さんへ

県立鶴岡中央高等学校
校長 兼 子 由 香

令和6年度生徒満足度調査の結果について

7月から8月にかけて、全校生徒を対象に「生徒満足度調査」を実施しました。回答率は最終的に97.5%（昨年度95.5%）でした。みなさんのアンケート調査への協力に感謝いたします。なお、集計結果については別紙をご覧ください。調査の結果から特徴的な点について下記のとおりまとめました。今後の学校生活に活かしてください。

1 全般的に高い評価

「学校生活全般」「学習」「進路指導」「学習センター」「生活指導」「保健」の6つの項目、28の点検項目のアンケート結果の中で、プラス評価（A評価とB評価の合計）が90%以上が10項目、80%台が13項目あり、全項目の評価の平均は86.1%（昨年度85.9%）でした。全般的に本校生徒の満足度は高く、肯定的評価が得られました。特に評価が高かった項目が、「3. 校内に仲のよい友だちがいる」97.2%、「2. 学校行事が充実している」95.1%、であり、こうした評価が本校の良い雰囲気反映されていると感じます。

2 学習面・進路指導について

全項目の中で評価が低かった項目は、「9. 授業で自分の考えを発表する」55.9%、「11. 自分から進んで学習する雰囲気がある」66.6%、いずれも学習面でした。ただし、「10. 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」をはじめ、4つの項目で昨年度より数値が改善しました。高校での学習にとどまらず、将来にわたって学習（学び）に対する主体的な姿勢が重要視されています。また、生成AIの活用など新しい学習方法も多様化しています。クロムブックや学習アプリの活用を工夫するなど、より自分に合った学びを広げていってください。進路指導については全ての項目の評価が90%を超えています。先生方も進路指導の充実を力を入れています。学習への取り組み同様、それぞれの進路実現に向けて主体的な取り組みをさらに充実させてください。

3 生活面について

昨年度と比較して数値に大きな変化はありませんが、いずれも学校全体として力を入れて取り組んでいきたい内容です。「24. お互いを大切にしようとする雰囲気がある」、は昨年度より数値は少し下がりましたが、89.5%と高い評価になっています。挨拶や身だしなみなど、基本的なことがしっかりできる、お互いを認め合い尊重することができる。中央高校の当たり前、中央高校の文化・伝統として後輩に繋いでいって欲しいと思います。

4 今後の学校生活について

これからの時代は、多様性を認め合い、共生を図っていく姿勢が強く求められます。本校は、引き続き生徒一人ひとりの存在が大切にされ、いじめを許さない、安心安全な学校づくりを目指します。皆さんも仲間を思いやり、積極的・主体的に諸活動に取り組み、成長を実感できる高校生活にしていきたいと思います。